

リピーター続出の人気公演！極上の演奏と軽快なトークを楽しむ、お昼前の贅沢なひととき。

芸劇ブランチ コンサート

清水和音の名曲ラウンジ



©Mana-Miki



トップ・アーティストたちの豪華な共演！

日本を代表するピアニスト 清水和音が中心となり
偶数月に開催している人気公演も、
好評のうちに9年目を迎えることが出来ました。
朝11時からの約1時間、東京芸術劇場コンサートホールを舞台に、
楽しくて本格的なコンサートです。

第47回 2024. 4.24(水)

「100% ヴィオラの日」

ベートーヴェン：

3つのヴィオラのためのトリオ op.87

(原曲：2つのオーボエとイングリッシュホルンのためのトリオ op.87)

ショスタコーヴィチ：

2つのヴィオラとピアノのための5つの小品より

前奏曲とガヴオット op.97d (中+佐々木+Pf)

(原曲：2つのヴァイオリンとピアノのための5つの小品より)

エネスコ：演奏会用小品 (鈴木+Pf)

ヴェータン：無伴奏ヴィオラのためのカプリッチョ (中)

ヴェータン：エレジー op.30 (佐々木+Pf)

クライスラー：愛の喜び (2つのヴィオラとピアノ版) (佐々木+鈴木+Pf)

出演者：佐々木 亮 (Va) 鈴木 康浩 (Va)
中 恵菜 (Va) 清水 和音 (Pf)



佐々木 亮 鈴木 康浩 中 恵菜

第48回 2024. 6.19(水)

「念願のメンバーでピアノ四重奏」

モーツァルト：ピアノ四重奏曲 第2番 変ホ長調 K.493

ドヴォルザーク：

ピアノ四重奏曲 第2番 変ホ長調 op.87

出演者：郷古 廉 (Vn) 佐々木 亮 (Va)

向山 佳絵子 (Vc) 清水 和音 (Pf)



郷古 廉 佐々木 亮 向山 佳絵子

第49回 2024. 8.7(水)

「締めは清水和音の熱情」

モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ ホ短調 K.304

ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ 第5番 へ長調 op.24「春」

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第23番 へ短調 op.57「熱情」

出演者：藤江 扶紀 (Vn) 清水 和音 (Pf)



藤江 扶紀

各回11:00開演(10:30開場) 全席指定：2,400円(各回・税込)

東京芸術劇場コンサートホール

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1 JR、東京メトロ、東武鉄道、西武鉄道「池袋駅」西口徒歩2分。(池袋駅地下2b出口直結)

主催：毎日新聞社 MIYAZAWA & Co. 提携：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

本公演は5歳以上の方の入場が可能です。但し、お席は必要です(4歳以下入場不可)

託児サービス(有料・定員制・要事前申込)

申込・問合せ：0120-415-306
(土・日・祝祭日を除く平日9:00~17:00)

お問い合わせ

サンライズプロモーション東京
0570-00-3337(平日12:00~15:00)

公演情報は

MIYAZAWA&Co.

検索



チケット
発売日

2023年12月20日(水)
10時受付開始(3公演同時発売)

チケット
取扱

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296(休館日を除く10:00~19:00) <https://www.geigeki.jp/t/>
チケットぴあ <https://pia.jp/>(Pコード：4月公演・259-426、6月公演・259-436、8月公演・259-439)
ローソンチケット <https://l-tike.com/>(Lコード：36243) イープラス <https://eplus.jp/>

各回の
聴きどころ第47回
4/24公演第48回
6/19公演第49回
8/7公演

清水和音以外の出演者全員が「ヴィオラ奏者」のコンサート。ヴァイオリンもチェロもない公演です。出演する3名の「ヴィオリスト」は日本を代表する奏者である事は勿論、それぞれがN響・読響・新日本フィルの首席奏者です。珍しい曲が多いかもしれませんが、このコンサートで、ヴィオラが好きになるはずですよ。

これまでの芸術ランチコンサートで「ピアノ四重奏曲」を何度もお聴きいただきましたが、今回の2曲は初登場の名作が並びます。そして、「いつか一緒に!」とそれぞれが願っていた共演が実現しました。ピアノ四重奏曲の真髄を堪能できることは間違いありません。

東京芸術劇場は、2024年9月末から約一年、休館します。「芸術ランチコンサート 清水和音の名曲サロン」も、第50回を目前に暫くお休みです。本日、最後にお聴きいただく曲は、清水和音のピアノでベートーヴェンの「熱情ソナタ」をご用意しました。毎年8月に帰国する藤江扶紀のヴァイオリンと演奏する名曲ソナタ2曲が華を添えます。

全公演
出演

©Mana Miki

清水 和音 (ピアノ) Kazune Shimizu (Piano)

完璧なまでの高い技巧と美しい弱音、豊かな音楽性を兼ね備えたピアニスト。ジュネーヴ音楽院にて、ルイ・ヒルトブラン氏に師事。1981年、弱冠20歳で、パリのロン＝ティボー国際コンクール・ピアノ部門優勝、あわせてリサイタル賞を受賞した。これまでに、国内外の数々の著名オーケストラ・指揮者と共演し、広く活躍している。室内楽の分野でも活躍し、共演者から厚い信頼を得ている。これまでにソニーミュージックやオクタヴィア・レコードなどから多数のCDをリリースし、各誌で絶賛されている。2011年には、デビュー30周年を記念して、ラフマニノフのピアノ協奏曲第1番～第4番とバガニエーニの主題による狂詩曲の全5曲を一度に演奏するという快挙を成し遂げた。2014年から2018年の5年間で年2回のリサイタル・シリーズ「清水和音 ピアノ主義」を開催。幅広いレパートリーで聴衆を魅了した。2016年4月からは、年6回の室内楽シリーズ「芸術ランチコンサート」を開始するなど精力的な活動を続けている。デビュー40周年となる2021年春には「3大ピアノ協奏曲の饗宴」で、ベートーヴェンの「皇帝」、チャイコフスキー第1番そしてラフマニノフ第2番の3曲を一気に披露。秋には「清水和音 ピアノの祭典」と題し、ソロから室内楽まで4時間を超えるプログラムで大きな存在感を示した。桐朋学園大学・大学院 教授。

2025年の公演は、
10月から再開予定です。
チケットの発売に関する
詳しい情報は、
「第48回 6月19日公演」で
お知らせします。

東京芸術劇場 休館のお知らせ

東京芸術劇場は設備更新工事を行うため、以下の期間休館します。
休館期間：2024年9月30日～2025年7月中(予定)

佐々木 亮 (ヴィオラ)

Ryo Sasaki (Viola)

東京藝術大学附属音楽高校を経て東京芸術大学卒業。現音室内楽コンクール第1位、「朝日現音賞」受賞。東京国際室内楽コンクール(民音)第2位、「ルフトハンザ賞」受賞。1992年秋よりニューヨーク、ジュリアード音楽院入学。在米中リンカーンセンターでリサイタルを行うほか、ソロ、室内楽奏者として全米各地で活動。2003年帰国し、2004年NHK交響楽団入団。2008年より首席奏者。桐朋学園大学、東京芸術大学、洗足学園音楽大学、東京音楽大学にて後進の指導にもあたっている。



4、6月出演

鈴木 康浩 (ヴィオラ)

Yasuhiro Suzuki (Viola)

桐朋学園大学卒業。ヴァイオリンを辰巳明子氏、ヴィオラを岡田伸夫氏に師事。第9回クラシックコンクール全国大会ヴィオラ部門第2位(1位なし)。第12回宝塚ベガ音楽コンクール弦楽部門第1位ほか受賞多数。2001年からベルリンのカラヤン・アカデミーで研鑽を積んだ後、ベルリン・フィルの契約団員となる。04年に帰国。ソリストとして国内外のオーケストラとコンチエルトを共演。また、各地でリサイタルを行う。読売日本交響楽団ソロヴィオラ奏者。



4月出演

中 恵菜 (ヴィオラ)

Meguna Naka (Viola)

桐朋女子高等学校音楽科を経て同大学卒業。ハンス・アイスラー音楽大学ベルリン マスター課程修了。Quartet Amabileのヴィオラ奏者として、第65回ARD ミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門 第3位に入賞、2019年YCA国際オーティション優勝、その他多数優勝。第22回ホテルオークラ音楽賞受賞。今井信子、マルタ・アルゲリッチ、ダン・タイソンの各氏と共演。テレビ朝日「題名のない音楽会」NHK-FM「リサイタル・パツシオ」などに出演。B→C、ヴィオラスペース、東京・春・音楽祭、宮崎国際音楽祭、霧島国際音楽祭、北九州国際音楽祭、その他多数出演。CHANEL Pygmalion Days室内楽アーティスト、Music Dialogueアーティスト。新日本フィルハーモニー交響楽団ヴィオラ首席奏者。使用



4月出演

©Yusuke Kinoshita

楽器は宗次コレクションより特別に貸与された Montagnana。

郷古 廉 (ヴァイオリン)

Sunao Goko (Violin)

2013年8月ティボー・ヴァルガシオン国際ヴァイオリン・コンクール優勝ならびに聴衆賞・現代曲賞を受賞。1993年生まれ。宮城県多賀城市出身。これまでに勅使河原真実、ゲルハルト・ボッセ、辰巳明子、パヴェル・ヴェルニコフの各氏に師事。使用楽器は1682年製アントニオ・ストラディヴァリ(Banat)。個人の所有者の厚意により貸与される。2019年第29回出光音楽賞受賞。NHK交響楽団ゲスト・アシスタント・コンサートマスターを経て、2023年4月よりNHK交響楽団ゲスト・コンサートマスターに就任。



6月出演

©Hisao Suzuki

向山 佳絵子 (チェロ)

Kaeko Mukoyama (Cello)

東京藝術大学を経てドイツ・リューベック国立音楽大学留学。第54回日本音楽コンクール第1位、第10回ガスパー・カサド国際チェロ・コンクール第1位、出光音楽賞の他多くの賞を受賞。スターン、ギトリス、アルゲリッチ等国内外の主要オーケストラと共演のほか、リサイタル、室内楽、公演プランナー、京都市立芸術大学准教授など多彩に活躍。



6月出演

©大塚道治

藤江 扶紀 (ヴァイオリン)

Fuki Fujie (Violin)

第80回日本音楽コンクールバイオリン部門第1位など多数受賞。これまでに、東京交響楽団、京都市交響楽団、東京フィル、ブルガリア国立ソフィア・フィルなどと共演。東京藝術大学を卒業後、渡仏し、2016年パリ国立高等音楽院大学院を最優秀の成績で修了。国内外において数々の音楽祭・演奏会に招待され、ソロのみならず室内楽でもリサイタルを行う。現在、フランス、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団・コンサートマスター(Co-Soliste)。



8月出演